

KOTOオンライン・マガジン

～音声付デジタル教科書の紹介～



本日は、ディスレクシアや弱視等の理由により、読むことについて困難があり、紙の教科書では学習を進めることが難しい児童・生徒が活用できる音声付デジタル教科書「マルチメディアデイジー教科書」（日本障害者リハビリテーション協会作成）を紹介します。

マルチメディアデイジー教科書とは

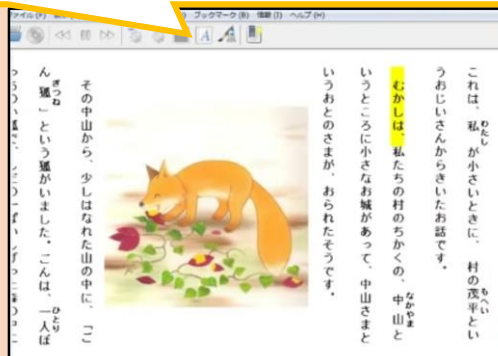
マルチメディアデイジー教科書は、通常の教科書と同様のテキスト、画像を使用し、テキストに音声をシンクロ（同期）させて読むことができます。使用するためには申請が必要になりますが、児童・生徒本人や保護者、学校単位での申請も可能で、児童・生徒のChromebookで使用することができます。

左側のQRコードからマルチメディアデイジー教科書の紹介コミックにアクセスできますので、ぜひご覧ください。詳細や申請につきましてはマルチメディアデイジー教科書のHPでご確認ください。



HPアドレス <https://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/book/daisytext.html>

大島中学校では、学校で申請を行い、希望する全ての生徒が活用できるようにしています！



特徴

- 教科書の文章の音声流れる。
- 読んでいる場所をハイライトで表示できる。
- 漢字にルビを表示できる。
- 文字の大きさや色、背景色の変更ができる。
- 読むスピードの調整ができる。
- 分かち書きで表示できる。

など

Chromebookの夜間早朝の使用制限が始まりました

児童・生徒の健康への影響及び夜間早朝は学習には適さない時間帯であることから、7月21日より児童・生徒用Chromebookの仕様を、小学校・義務教育学校前期課程は、22時から翌朝5時まで、中学校・義務教育学校後期課程は、24時から翌朝5時までインターネットへの接続ができないように変更いたしました。

児童・生徒へのデジタル機器との付き合い方などの指導と併せて、今後もより一層のChromebookの活用を推進をお願いいたします。

臨時の情報教育専門委員会をオンラインで開催し、小中の校長先生方と教育委員会事務局で協議し決定しました。

